

【取材のご案内】

性暴力サバイバーの妊娠出産サポート 開始

～出産ドゥーラによる継続的なサポートの効果の実証事業～

性暴力は4人に1人が経験していると言われるほど社会に蔓延しています。性暴力を受けたことのある人が妊娠・出産する時に「大切にされた」と思えるケアを受けることにより、その経験が癒しやエンパワメントになることがあります。産まれる子どもの世代に性暴力を伝えないことを目指し、ドゥーラ(妊娠・出産の専門訓練を受けた非医療者)がトラウマインフォームドケアを学び、継続的なサポートを行います。取材のご検討をよろしくお願いいたします。



ドゥーラとの出産風景

■出産ドゥーラとお産とは

欧米では妊娠・出産・産後のサポートをドゥーラに頼むのが選択肢として広まっています。出産ドゥーラは非医療面で産む人とご家族を、気持ちの面、身体の面で支える存在です。例えば、妊婦健診で不安になったことを気軽に話せる傾聴や情報提供。出産に向けた身体や心の準備、家族のサポートに伴走。出産時は陣痛から出産直後まで継続して付き添い、励ましたりマッサージをしたり、他の家族のケアも。産後は訪問して赤ちゃんとの生活が軌道に乗るようお手伝いします。

■プロジェクト概要

2023～2024 年前半 ドウーラのトラウマインフォームドケア研修

2024 年後半～ 出産ドウーラサポート開始

【協力】 日本フォレンジックヒューマンケアセンター、性暴力サバイバーの妊娠出産翻訳チーム、
全国養子縁組団体協議会

※ドコモ市民活動団体助成事業の一環です

【場所】

主要な活動場所は東京都調布市及び町田市。ドウーラサポートは日本各地で行う予定です。

【取材可能な内容】

- ・ドウーラへのインタビュー
 - ・これまでの性暴力と出産に関する団体の活動について
- ※ドウーラと出産した人へのインタビューをご希望の場合はアレンジが可能です。
- ※その他、質問がありましたらお知らせください。



このプロジェクトを通じ、性暴力を受けた人の声なき声が
社会に届き、全ての性暴力サバイバーが温かいケアを受けて二度と性被害が繰り返されないよ
うな人生を歩んでいけることを心から願っています。

■主催者プロフィール



出産ドウーラワークショップの様子

一般社団法人ドウーラシップジャパン

2008 年より活動を始め 2019 年に法人化。非医療者として妊娠出産をサポートする出産ドウーラ同士のつながりと学びの場を提供し、多様な人が安心して出産できるように活動中。出産の主役は産む人であり、「どんな人も豊かな出産ができる社会」を目指している。

連絡先

電話番号：03-5969-8072(担当：松野)

メールアドレス：info@doulashipjapan.org

インスタグラム、Facebook、X、Youtube：@doulashipjapan

ウェブサイト：<https://www.doulashipjapan.org/>